

【ケータイ安全教室を終えて】

今回の携帯安全教室には、およそ140名の保護者の参加がありました。お忙しい中ご参加いただいた保護者の皆様には感謝申し上げます。安全教室を担当されたNTTドコモの方も、参加者の多さに驚いておられました。もちろん、他の学校との比較の上でのことではと思いますが、私としてはもう少し多くの参加があったらよかったなという気持ちがあります。

5,6年生を対象とした教室では、子どもたちがケータイの使用によって様々な問題が発生していることに驚きながら、興味深く話を聞いていました。終了後、担当された方とお話をした際に、「中学生、高校生にこのような話をしても、すでに通信、通話のツールとなってしまうケータイの利用方法を見直そうと訴えてもなかなか実行してくれることがない。その点、これから様々な利用をすると思われる小学生にこそこういう話をするのが大切だと感じています。」とおっしゃっていたのが印象的でした。

昨今、学校に携帯電話を持ち込ませないようにしようという取り組みを行っている地域もあります。その理由が、授業中にいじめなどにつながるような書き込みやメールをさせないようにと書いてあるのを見ると、逆にそのようなことが実際に行われているということに驚かされます。少なくとも、そういうレベルでのケータイのあり方の論議をする必要がない学校であらねばならないと考えます。

【好きなこと・得意なこと】

少し前のことですが、川崎市内の女子高校生が来年から始まる関西独立リーグ「神戸」でプロ野球選手として活動することになりそうだというニュースが流れました。小学校2年生から野球を始めたということですが、155cmの身長で、球速は時速110km程度だそうです。得意な球種はナックルボールで、彼女の手から離れたボールは、打者の手元で不規則に変化するために大変打ちにくいのだそうです。得意とするこのナックルボールで来年からプロの野球選手として活躍してくれることを期待しながら見守りたいと思います。

好きなことにとことん取り組みながら、自分の腕に磨きをかけてその中のいくつかのことをいわゆる得意なことに変えていくことは誰にでもできることです。その中には比較的短時間でできることもあれば、多くの時間と努力を要することもあるでしょう。子どもたちの学校での生活ぶりを見ていても、いろいろなことをきっかけとして、興味を持ち、そして自分なりに努力し、いつしかそのことについて自信を持てるようになる子どもたちの姿に出会うことがあります。そんなときはその子を祝福し、努力を褒めることを忘れてはいけません。また、そんなときに応援しながら何らかの関わりを持つことができればますます嬉しさも増します。子どもたち一人ひとりがナックルボールに代わるものを持っていけるといいですね。

【いたずらも勉強のうち？】

毎日の栗平駅と学校との間の通学路は、子どもたちにとって楽しい場であることが多いようです。友だちと一緒に会話を楽しんだり、ときには道端の草花や虫、今なら落ち葉を観察したりしながら歩くもいるでしょう。そんな中で、ときどき見られるいたずら心。落ちていたものを拾っては、それをいじったり、振り回したりしてみたくなる。本当は入ってはいけない場所にちょっと入り込むというスリルを味わう。登下校の子どもたちの様子を見てるとときどきそういう姿に出会います。危険なこと、人に迷惑をかけることについては、その場で声をかけるようにしていますが、同時に子どもらしさも大切にしたいと思います。

先日鞆持ちが話題になった学級がありました。子どもはゲーム・遊びの一つであると言いますが、果たしてそうでしょうか。それをやっている子どもの気持ちは、鞆を持つ子(持たされる子)、持たせる子でも違うでしょうし、ましてやそれを見た大人はまさか「楽しそうだな」とは思ってくれないでしょう。鞆持ちをしている子どもたち全員の表情を見ると、みんなが笑顔でいるということはまずありません。子どもたちの遊びの中には何らかの力関係が働くことはありますが、一人の背中に大勢の鞆や精神的な負担を負わせることはないようにしていかなければならないでしょう。

【マラソン大会を終えて】

今年の行事はお天気に恵まれないなという印象をお持ちの方が多いのではないでしょうか。運動会、マラソン大会の二大行事が雨を伴うものになってしまいました。前日になってからの突然の予定変更にも関わらず、保護者の皆様方にはご理解とご協力を頂くことができ大変ありがたく思っております。また、今回は幸いなことに天気予報通りに雨雲が通過してくれたのでよかったです。

大会前の子どもたちの頑張る姿を毎日見ていると、そう簡単に中止にはできないという気持ちが強くなります。仮に中止にしたとしても、それまでに身につけたことがこれからの学校生活に生かされることは十分に考えられますが、子どもたちの中でそれが不完全燃焼という形で終わってしまうことはできれば避けたいと考えます。

現在発行させていただいている「校長室だより」が常に一方通行の情報発信であることを改善するために、保護者の皆様からのご意見やご質問などがありましたらそれをこの紙面に私の意見を交えて紹介したいと思います。お名前を出すようなことはいたしませんので、是非ともご意見、ご質問をお寄せくださいますようお願いいたします。